

2004.5.20

自己点検・評価「多摩美術大学 2000 - 2003」企画 G 議事録

- ・日 時：2004.5.19（水） 10:30～12:00
- ・場 所：メディアセンター 4 F 会議室
- ・参加者：森下教務部長（自己点検・評価部会長）、柿本総務部長、恩蔵総務課長、
荒川教務事務部長、田中造形表現学部事務課長、総務・石井
- ・議事概要
以下の事項について、検討を行った。
 - 部会報告書のとりまとめ方
 - グループ報告書のとりまとめ方
 - 共通統計データの内容
 - 各学科ヒアリングの概要
- ・決定事項
 - 部会報告書のとりまとめ方
 - ・各グループから上げられたグループ報告の取り扱いについては、総括グループが最小限の手を入れる（グループ間の矛盾などを生かすことで、問題点を浮かび上がらせる）。
 - ・総括グループ報告は、各グループ報告の矛盾点に対する指摘、それをつなぎ合わせる方策などを中心として作成する。
 - ・「グループ報告 + 総括グループ報告 + 外部評価者報告」で「多摩美術大学 2000 - 2003」を構成する。
 - ・その他、詳細については、報告書の書式等を定める。
 - グループ報告書のとりまとめ方
 - ・グループ報告の章立てなどの構成は単純にし、分かりやすさを重視する。
 - ・その他、詳細については、報告書の書式等を定める。
 - 共通統計データの内容
 - ・各作業グループの議論の切り口となるような共通統計データが相応しい。
 - ・基本的な受験者数や学生数などが中心となるだろう。
 - ・詳細は、各担当者から上がってきた材料を確認して、修正して行く。
 - 各学科ヒアリングの概要
 - ・6月の最終週前後で日程調整する。
 - ・ヒアリングのポイントとして、書類やデータ等では分からない印象を重視する。理事長、学長と教員が話し合いの場を持つこと、現場を実地によく見ること自体に重きを置く。
 - ・各学科がヒアリングを受け入れられるように、ヒアリングポイントを整理し、周知する。

以 上